

安全データシート

1. 製品及び会社情報

整理番号 04-002  
 製品名 コンドル ノンスリップワックス  
 品番 18L C56-18LX-MB  
 会社情報 会社名 山崎産業株式会社  
 住 所 兵庫県伊丹市北伊丹6-67  
 電話番号 0727-82-8277  
 F A X 番号 0727-82-1097

2. 危険物有害性の要約

GHS分類  
 物理化学的危険性： 該当しない  
 ※ 記載の無いものは分類対象外又は分類できない

GHSのラベル要素

シンボル なし  
 注意喚起語 なし  
 危険有害性情報 なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

	含有量wt%	CAS No.	化審法 No	安衛法No.
天然ロウ (パラフィンワックス、カルナウバワックス)	非公開	非公開	登録済み	非該当
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	非公開	非公開	登録済み	非該当
ソルビタン脂肪酸エステル	非公開	非公開	登録済み	非該当
アルカリ可溶性樹脂	非公開	非公開	登録済み	非該当
コロイダル・シリカ	1.0~3.0	7631-86-9	登録済み	文書交付対象 312
防腐剤	非公開	非公開	登録済み	非該当
水	85.0~92.0	7732-18-5	対象外	非該当

毒物並びに劇物取締法	原料として使用しておりません
環境ホルモン疑義物質	原料として使用しておりません
労働安全衛生法規制該当物質	原料として使用しておりません
化学物質管理促進法 (PRTR法) 規制該当物質	原料として使用しておりません
シックハウス・シックスクール配慮 (VOCの使用)	本製品には、室内空気汚染の原因とされる厚生労働省指針値該当 13 物質成分を原料として使用しておりません
改正建築基準法における建築内装材の規格	当該法律に言う建築材料には該当しませんホルムアルデヒドを原料として使用しておりません
学校環境衛生基準該当物質	原料として使用しておりません
有機並びに無機のリン化合物含有の有無	原料として使用しておりません

CASBEE 清掃用ケミカル判定表

評価項目	判定基準	判定結果
水素イオン濃度 (pH)	原液=5~9に適合すること	適合
シックハウス配慮	厚生労働省が室内濃度に関する指針値を策定した揮発性有機化合物 (VOC) を原料として含まないこと	適合
急性経口毒性	LD50=>2,000mg/kgであること	適合

VOC濃度	沸点260℃未満のVOCにおいて、製品に定める最低稀釈倍率での含有率が、床用保護剤で7%以下であること	適合
有害性が判明している化学物質	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）における「第一種指定化学物質」と「第二種指定化学物質」を含まないか指定割合以下であること	適合

#### 4. 応急措置

目に入った場合

- ・ 直ちに清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと
- ・ 医師の診断を受けること

皮膚に付着した場合

- ・ 大量の水及び石けん又は皮膚用洗剤を用いて十分に洗い落とすこと
- ・ 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には必ず医師の診断を受けること

吸入した場合

- ・ 空気の清浄な場所で安静にする
- ・ 必要であれば医師の診断を受ける

飲み込んだ場合

- ・ 意識のある場合、水をコップ1～2杯飲ませ、吐かせない。口の中を水で良く洗う
- ・ 意識のない場合、口から何も与えてはならない。また、吐かせてもならない
- ・ 安静にして、直ちに医師の診断を受ける

#### 5. 火災時の措置

消火方法： 本製品は引火しない。ただし、製品乾燥物は可燃物となる。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・ 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する

環境に対する注意事項

- ・ □河川などへ排出されて、環境汚染等を起こさないように注意する
- ・ □地域の規則に従う

回収方法

- ・ 多量に漏出した場合：まず、土のう等で拡散を防止し、凝集・凝固剤などで凝集処置をしてから回収する
- ・ □少量の場合：乾燥砂、土、ウェスなどに吸収させて回収する

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

〈技術的対策並びに注意事項〉

- ・ 換気の良い場所で取り扱う
- ・ 保護具（ゴム手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する
- ・ 周囲に人やペットがいないことを確認してから使用する
- ・ 白度容器から出した液は元の容器へ戻さない
- ・ 容器はその都度密閉する

〈安全取扱注意事項〉

- ・ 忌避物質との接触を避ける

保管

〈保管条件〉

- ・ 日光の直射を避ける
- ・ 通風の良いところに保管する
- ・ 湿気、熱源から遠ざける
- ・ 凍結に注意する
- ・ 忌避物質との同一場所保管を避ける

#### 8. 暴露防止 および 保護措置

設備対策

屋内作業所の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備とすること

保護具

目の保護	: ゴーグル等を使用する
皮膚及び身体の保護具	: 皮膚を露出しない着衣、化学薬品が浸透しない材質の手袋を着ける
呼吸器系の保護	: 必要に応じて保護マスク等を着用する

9. 物理的 および 化学的性質

物理的状态	乳白色液体
臭気	原料臭
水への溶解性	分散
沸点□	約100℃
蒸気圧	ほぼ水と同様
pH□	9.5 ± 0.5
粘度	2.6 ± 1.0mPa・s (20℃)
水分□	85%以下
比重□	1.01 ± 0.03 (20℃)
引火点	引火せず
発火点□	なし
その他	特になし

10. 安定性及び反応性

安定性	一般環境下で安定
危険な反応	情報無し
避けるべき条件	低温（凍結）40℃を超える高温環境
避けるべき材料	水禁忌物質との混合禁止
危険有害な分解生成物□	情報無し

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	混合物判定理論経口LD50の推定値に基き、区分外とした。
急性毒性（経皮）	データ不足のため分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	データ不足のため分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	データ不足のため分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	データ不足のため分類できない
皮膚腐食性/皮膚刺激性	データ不足のため分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データ不足のため分類できない
皮膚感作性	データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない
発がん性	データ不足のため分類できない
生殖毒性	データ不足のため分類できない
特定標的臓器（単回暴露）	データ不足のため分類できない
特定標的臓器（反復暴露）	データ不足のため分類できない
吸引性呼吸器有害性	データ不足のため分類できない
水性環境有害性・急性	データ不足のため分類できない
水性環境有害性・慢性□	データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

移動性	あり
残留性/分解性	あり
BOD	データ無し
COD	データ無し
生体蓄積性	データ無し
魚毒性	データ無し
その他	一般環境内には廃棄しない
排水基準を定める総理府令別表第1に掲げる有害物質を含まない	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃液等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する</li> <li>・ 容器、機器装置などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと</li> <li>・ 漏水処理、焼却などによって発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に</li> </ul>
-------	---

- 関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること
- ・地域の規則に従う
- 汚染容器・包装
- ・容器などの廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する
  - ・地域の規則に従う

---

#### 14. 輸送上の注意

陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合、法令に従って輸送すること
内陸水路輸送	: 船舶安全法の定めに従う
海上輸送	: 船舶安全法の定めに従う
航空輸送	: 航空法の定めに従う
国際規則	国連分類: 該当しない 国連番号: 該当しない

---

#### 15. 適用法令

消防法	: 該当しない
P R T R法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 文書交付対象物質312 シリカ
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない

---

#### 16. その他の情報

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。

当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。